

## 事業者の皆様へ 消費税のインボイス制度等 説明会のご案内

令和5年10月1日から、インボイス制度が実施されます。

事業者の皆様には、インボイス制度について理解を深めていただき、インボイス制度の実施に向けて必要な準備を進めていただくため、インボイス制度説明会を開催しますので、ぜひご参加ください。

- ▶日時／(各回 定員20人 事前予約制)  
4月18日(月)・5月25日(水)・6月14日(火)  
【インボイス制度説明会】 午前10時～11時  
【インボイス制度説明会+消費税の仕組み】  
午後2時～3時30分
- ▶開催場所／津島税務署 別館2F大会議室

問 津島税務署 法人課税第一部門 ☎(26)2161  
※電話は自動音声案内にしたがって「2」を選択してください。



## 第2・第4水曜日に マイナンバーカードの 時間外交付(予約制)を行います



4月から、毎月第2・第4水曜日にマイナンバーカードの時間外交付を行います。

時間外交付は完全予約制です。予約人数には限りがありますのでご了承ください。

- ▶予約受付／平日開庁日の午前8時30分～午後5時15分  
※受取希望日の5日前の金曜日までに市民課または支所へ電話で予約申し込みをお願いします。
- ▶交付日時／毎月第2・第4水曜日  
午後5時30分～午後7時(祝日、年末年始は除く)
- ▶交付場所／市民課  
※窓口の状況によって交付時間が多少前後する場合があります。

### 【予約連絡先】

市民課 ☎(55)7112 立田支所 ☎(55)7143  
八開支所 ☎(55)7144 佐織支所 ☎(55)7145

## あいさい見聞録 その39 川の名前



2022年度は、木曾川についての雑想を綴ります。先ずは川の名前。歴史を遡ると、川の河道は変化し、また、川の名前も変わります。

木曾川は、明治の木曾三川分流事業により長良川と背割堤により分流され、一部開削されました。江戸時代に当地を流れていた川は佐屋川であり、現在の海部幹線水路がその名残です。

平安時代末期に起きた平治の乱(1160(平治元年))で源義朝(源頼朝の父)が青墓(現・大垣市)から野間(現・南知多町)へ逃走する時の「ねじ柳敷」が立田町の木曾川河川敷に残っています。しかし、当時は木曾川ではなく揖斐川としての流れでした。さらに、墨俣川の戦い(1181(治承5年))では、源義朝(頼朝の義弟、義経の兄)が戦死します。この墨俣川とは現在の長良川であり、墨俣で鵜沼川が合流していました。現在の岐阜市と羽島市との境を流れる境川が鵜沼川の名残で、現在の木曾川本流と推定されています。戦国時代には、木下藤吉郎が活躍した墨俣一夜城は、用意した建材を木曾川上流から流して墨俣で組み立てました。



立田町に残る「ねじ柳」の石碑

現代の木曾川は、長野県の鉢盛山にある源流から流れ出し、伊勢湾に注いでいますが、下流部の名前が定まったのは近代になってからであり、昔は長良川や揖斐川などと濃尾平野で合流分流を繰り返して網の目のように流れ、その地域の名称と呼ばれていたのです。他の川の例として、名古屋市を流れる庄内川は、岐阜県内では土岐川と呼ばれていました。

そして、木曾川の語源は諸説ありますが、源流が流れる木曾地方は古い地名であり、アイヌ語で「美しいソノ河原」という説が有望です。

問 市観光協会 ☎(55)9993